

株式会社六日町自動車学校 DX戦略 2023

作成日:7月21日
社名:株式会社六日町自動車学校
代表名:代表取締役社長 佐藤 与仁

1.DXに関するトップメッセージ

【DXに取り組む背景】

少子高齢化による母集団の減少や若者の車離れによる免許取得率の低下という問題を受け、地方にある自動車教習所にとっては、今後厳しい経営状況が続きます。また、18歳人口の減少だけでなく、デジタル化の波や自動運転など、これから業界としてドラスティックに変化が求められます。このような環境変化の中で、当社が持続的に成長していくためには、自動車教習所や合宿免許だけでなく、様々な手を打つ必要があり、従来の「運転免許証を取得するための教習を行う自動車学校」という枠組みから脱皮し、デジタル化による変革を進め、「お客様や社会のニーズにお応えすることができるマナビの場」としての役割を果たすことが重要だと考えています。

【社長が目指すビジネスモデル】

六日町自動車学校は、免許取得だけでなく、人とのつながりも大切にできる学校です。

少子化に伴い、自動車学校を取り巻く環境は大きく変化しています。若者の人口が減少しているため、自動車学校に通う生徒の数も減少しています。このような状況の中、自動車学校が生き残っていくためには、従来の枠組みから脱皮し、新たなビジネスモデルを実現していく必要があります。六日町自動車学校は、デジタル教材や企業向けの自動車免許取得サービス、高齢者向けの講習など、新たなビジネスモデルを積極的に展開していきます。これらのビジネスモデルは、少子化時代の自動車学校が生き残っていくために、重要なものであると考えています。

六日町自動車学校は、運転免許証を取得するための教習を行うだけでなく、社会に貢献できる場にしていきます。

自動車学校は、デジタル化や人材不足などの課題に直面していますが、これらの課題を克服し、社会に貢献できる場となるよう、努力しお客様のご要望にお答えしていきます。

2.経営理念・経営ビジョン

【経営理念】

「全従業員の物心両面の幸せを追求すると共に、」

「安全で安心なサービスをお客様に提供することを通じて、」

「社会の発展に貢献する。」

【経営ビジョン】

自動車学校が従来の「運転免許証を取得するための教習を行う」という枠組みから脱皮し、デジタル化による変革を進め、「お客様や社会のニーズにお応えすることができるマナビの場」としての役割を果たし、社会貢献をしていきたいと考えています。

卒業生数や学科試験合格率、ストレート合格率を日本一にすることを目指します。

また、5年後にはDXで日本一生産性の高い自動車教習所になります。

自動車学校は、これまで運転免許証を取得するための教習を行う場として機能してきました。しかし、デジタル化によって、より効率的かつ効果的な教習を行うことができるようになります。また、お客様や社会のニーズに応えることができるようになる為、自動車学校の取り組みは、自動車学校のみならずマナビの場として地域貢献できる会社を目指してまいります。

3.DX戦略(DXステップ)

経営ビジョン達成のために、DXプロジェクトチームを中心に、これまでの自動車教習所の常識を打破するデジタル教材の強化・改善に努め、5年後までに「社会に自分の能力を生かす人を作るマナビの場」を展開します。そのために、下記のようなステップでデジタル化やデータ活用、社内変革を推進しデジタルに売上の3%を投資していきます。

DX推進ステップ

2023年の私たち

DXプロジェクトチームを中心に、デジタルコンテンツの推進

- ・オンライン学科
- ・デジタル原簿

2026年の私たち

- ・運転免許+EG取得可能へ
- ・運転免許以外のデジタルリテラシー講習
- ・高齢者向けのプレミアム講習

2028年の私たち

- ・オンライン学科による学科試験合格率日本一
- ・教習指導員一人当たりの卒業生数日本一
- ・ストレート合格率日本一

3.DX戦略

経営ビジョン達成のために、従来の「運転免許証を取得するための教習を行う自動車学校」という枠組みから脱皮し、デジタル化による変革を進め、「お客様や社会のニーズにお応えすることができるマナビの場」を提供する会社になるため、以下のDX戦略に取り組みます。

戦略② 教習指導員一人当たりの 卒業生数日本一

受験生の解答結果データを解析し、
フィードバックする

オンライン講習の内容の充実
(間違いやすい問題の繰り返し)

戦略① オンライン学科による 学科試験合格率日本一

WEBマーケティングの自社サイトダイ
レクトの集客の強化

教習単位ごとの複数率 100%
カリキュラム、教習スケジュールの自
動化

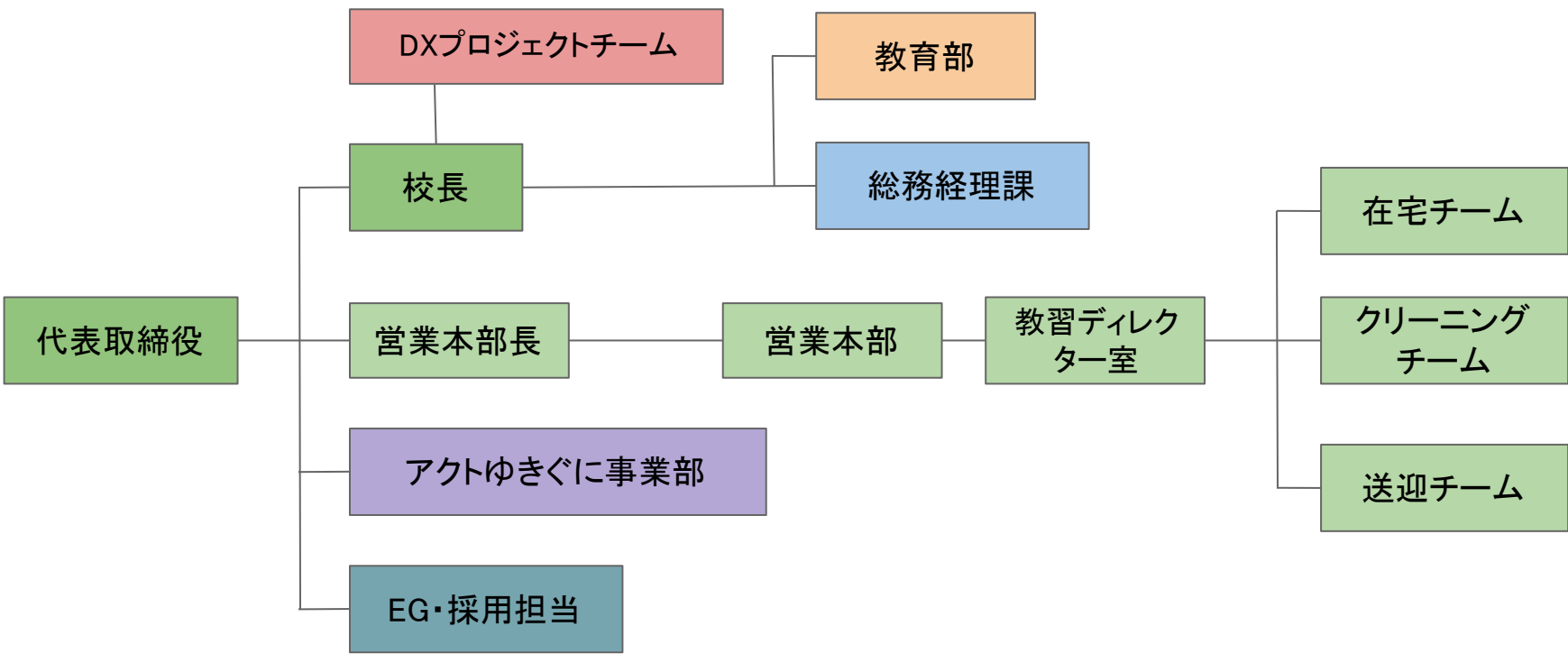
動画コンテンツによるイメージ
トレーニングによる合格率の向上

指導員の能力向上(動画、最新の
デジタル教習マニュアル)

戦略③ ストレート合格率日本一

4.体制・人材育成

2023年6月からDXプロジェクトチームを立ち上げDX実務執行総括責任者(社長)を中心としてDX担当者を各部署に配置し、各部門長を構成員としてDXを推進します。定着した後は、各担当部署に横展開し、デジタル技術を使ってお客様のニーズに対応及びデジタル人材の育成及び資材管理を実施します。



5. デジタル技術、環境整備

当社は、DX推進のために下記表のデジタル技術の導入や環境整備に取り組めます。

既存システム	取り組み内容	いつまでに、何をする？	担当
chatwork	重複しているアプリケーションの見直し、データ活用	2024年	総務
プロフィット 基幹システム) (教習所)	デジタル原簿を完全移行	2024年	DXプロジェクトチーム
スピード決済	項目等の見直し	2025年	総務
ルッカースタジオ	データマンションからのグラフ反映	2025年	DXプロジェクトチーム
アニー	チェックリスト、マニュアルの分割	2025年	プロジェクトチーム
DONDONドライブ	問題の見直し	2025年	プロジェクトチーム
サンクスカードアプリ	利用マニュアルの見直し	2024年	総務
ラインワークス	情報発信の自動化	2025年	プロジェクトチーム
HP(合宿サイト)	マイページ機能の追加 (直接申し込み・動画)	2024年	HP担当部門

6.数値目標(KPI)

当社は、DX推進達成状況を測る指標として下記を定めます。毎年、年2回(6月・12月)に実行計画アセスメントをおこなった上で、その結果を反映し各チームで実行計画を見直し、月一回評価をおこないながら実行計画目標を達成できるように工夫していきます。

区分	取り組み内容	時期	目標値
オンライン学科による 学科試験合格率日本一	データ解析力の向上	2026年までにシステムを教員全員が 使用できるようになる	2025年全員がシステム研修を受講し活用発 表会を開催
教習指導員一人当たりの 卒業生数日本一	新規顧客の獲得	2028年までに自社サイト集客強化	2028年までに自社サイトでの集客 100%
	教習単位ごとの複数化	2026年までに教習単位ごとの複数化を推進	2028年 教習単位ごとの複数化 100%
ストレート合格率日本一	動画コンテンツ内容の向上	2025年までに動画コンテンツの作成	2028年までにストレート合格率 日本一(99%)
	DX人材の育成	2026年までにデジタル人材を育成する	2026年までにデジタル人材 10名育成